

*Deporaus unicolor*

日本甲虫学会

Coleopterological Society of Japan

HP : <http://kochugakkai.sakura.ne.jp/>

Facebook <https://www.facebook.com/coleopterology>

Twitter 日本語アカウント : <https://twitter.com/kochugakkai>

英語アカウント : https://twitter.com/Coleopt_Soc_Jpn

甲虫学会 会長挨拶

大原昌宏

日本甲虫学会の会長になり、あっという間に半年がすぎました。不慣れな会長職ですので、ほぼ何もしないうちに半年がすぎました。学会の目的は「甲虫学に関わる科学の振興を目的とし、研究成果を公表し、また会員相互の知識の向上と親睦をはかる」とされていますから、むしろ会長のリーダーシップよりも、会員の皆様が、日々の調査を活発に行い、その成果を学会から溢れ出るように発信していただくことが学会のあるべき姿であり、会長の仕事なし状態は良いことなのかもしれません。しかし、リーダーシップが必要な時もあると思います。学会宛にご助言をいただければ幸いです。

暇な会長職(?)の仕事の一つに、この会長挨拶があります。年に数度は執筆が必要のため、これまで私が日本甲虫学会に関わってきたことを数回にわたり書いておくことを考えました。若い会員の方には興味があるかもしれません。まず、欧文誌のことです。

2005年からElytra編集幹事、2011年からElytra, new seriesの編集長として欧文誌には関わってきました。編集幹事の時は、前編集長の上野俊一先生から編集のノウハウの手ほどきを受けました。様々な著者の原稿を見ることはとても勉強になり、編集側として受理までのサポートすることの重要さも教えてもらいました。編集長となってからも上野前編集長のサポートは継続していただき、1号から5号までは編集幹事小林憲生、丸山宗利、鶴智之、6号から9号までは安藤清志、小島弘昭、吉武啓、そして旧シリーズで幹事を長くされていた新里達也の各位に、大きな負担をかけながらサポートをいただき刊行の継続ができました。査読や査読者のアレンジなど編集委員にもご負担をかけ大変お世話になりました。

編集に関わった経験から日本甲虫学会の特徴といえるいくつかの編集方針を挙げたいと思います。

1) ほとんど「リジェクトなし」。本学会員の7割は甲虫のアマチュア研究者です。その会員がElytraを発表の場として、分類学の論文の書き方をトレーニングし成長し、現在の日本の甲虫分類学の人材の層の厚さとなっています。リジェクト相当だった論文が、査読、修正、査読を繰り返してより良い論文となり、ほぼ9割以上の論文が受理となっています。時代とともに雑誌の方針や編集者の考え方は変わるかもしれませんが、人材育成の場として本学会の欧文誌が活用されてきたことは、銘記すべきことと思っています。

2) 古い体裁。Elytra, n. ser.は、B5版、人名small capital、引用文献フォーマットなどなど、30年前からほとんど変わっていないフォーマットが継承されています。実はn. ser.になるときに变革をもたらそうと思い丸山編集幹事などと画策しましたが、前編集委員長に説得され、そのまま古い体裁になりました。n. ser. になって9年経ちますが、古い体裁は読みやすく、今では無理な変更をしなくてよかったと思っています。これも時代とと

もに変化するものと思いますが、雑誌の体裁は、多くの編集者が強いこだわりをもって継続されていることを知っていただければと思います。

3) よくわからないこだわり。投稿規定には明記されていない、習慣や体裁もあります。例えば、Tokyo, Osaka, Hokkaido, Honshu, Kyushu には *o* や *u* の長音記号は付きませんが、Hyogo, Kôbe には付けています。これは習慣として維持されていますが、理由はわかりません。しかし雑誌内で統一されていると、気にさわず確かに読みやすいものです。

まだ他にあるかもしれませんが、挨拶の文字数制限をだいぶ過ぎているようなので、今回はこの辺りで。

調査観察例会 岐阜県日和田高原 7月13・14日

申込み締切迫る！ 6月10日(月)までに

<http://kochugakkai.sakura.ne.jp/event/saisyu/saisyu.html>

大会や地域例会の記録・予定などは 下記リンクに掲載しています

<http://kochugakkai.sakura.ne.jp/event/event.html>

年次大会:11月30日(土)~12月1日(日) 場所:九州大学伊都キャンパスイーストゾーン

学会誌投稿先は英文誌・和文誌とも変更になっています

英文誌 Elytra(NS): 〒901-0336 沖縄県糸満市真壁 820 (沖縄県農業研究センター内)

農研機構 九州沖縄農業研究センター(糸満駐在) 気付「日本甲虫学会」

吉武 啓 電子メール:elytranewseries@gmail.com

和文誌さやばね(NS): 〒910-8507 福井県福井市文京 3-9-1 福井大学教育学部

保科英人 電子メール:hhoshina@f-edu.u-fukui.ac.jp

本年度会費がまだの方は納入お願いします

正会員 8,000円(ただし日本国外に在住する会員は10,000円)

学生会員 5,000円(指導教員または他の会員による証明要)

[郵便振替口座]口座名:日本甲虫学会 口座記号番号:00880-2-190472

日本甲虫学会 ニュースレター 第19号

2019年5月31日発行 ※本ニュースレターは主にHPの更新履歴に基づき、プレーンテキストにて不定期でメール配信しています。以後の配信停止ご希望の方はご連絡ください。過去の更新履歴も、PDFでご覧いただけます。

<http://kochugakkai.sakura.ne.jp/newsletter/newsletter.html>

(web担当:初宿・山本 webmaster@kochugakkai.sakura.ne.jp)